

神奈川県国際ライフサイエンス 実用化開発拠点

革新的計測・評価技術開発によるライフイノベーション創生
—レギュラトリーサイエンス推進拠点の形成—

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…神奈川県経営者協会、神奈川県中小企業団体中央会
学…北里大学、横浜国立大学、横浜市立大学、
実験動物中央研究所、
神奈川県科学技術アカデミー (KAST)、
理化学研究所横浜事業所、
木原記念横浜生命科学振興財団、川崎市産業振興財団
官…神奈川県、横浜市、川崎市
金…横浜銀行

地域イノベーション戦略

神奈川の持つ知的資源と産業の集積を生かし、国際競争力を生み出す科学技術基盤の構築と技術シーズの実用化展開、先端的研究開発をリードする人材の育成により、世界に通用する革新的な医薬品・医療機器の開発や新たな健康関連産業を創出するライフサイエンス分野の実用化開発拠点を形成し、我が国の国際競争力向上を図りながら持続的経済成長を牽引します。



プロジェクトディレクター 馬飼野 信一

略歴：昭和49年 神奈川県工業試験所に入所。神奈川県産業技術センター副所長、所長を歴任、現在公益財団法人神奈川県科学技術アカデミーの専務理事に就任。

神奈川県工業試験所に入所以来、平成23年3月神奈川県産業技術センターを退職するまで一貫して計測・評価の技術支援や産学公連携による企業支援業務に従事しました。平成17年神奈川県R&D推進協議会を発足させ、参加する大企業、中小企業、大学及び公的機関の連携をコーディネートするなど、現職のKAST専務理事職を含めて神奈川の産学公連携を推進します。

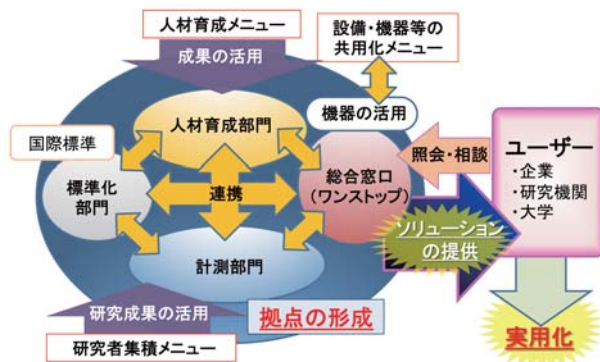
事業の内容

【全体計画及び成果】

1. 全体計画

地域イノベーション戦略実現に向けて、科学的根拠(エビデンス)を基にライフサイエンス分野の製品等の有効性・安全性を明らかにする革新的な計測・評価法を開発し、信頼性、有効性、優位性を研究機関、大学等と協力して検証することにより、デファクトスタンダードとなる計測・評価法を確立します。

国際ライフサイエンス評価センターのイメージ

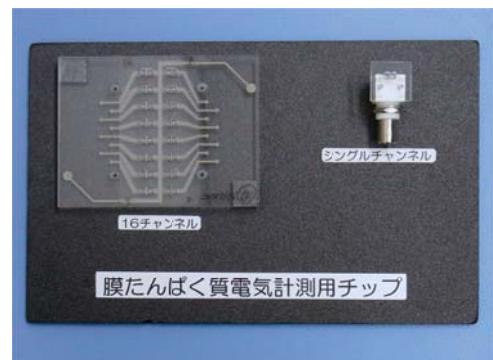


【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積 (実施機関：KAST、北里大学)
評価・計測技術の推進と医療・健康関連産業の創出に必要な研究開発を行う人材を集積します。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：KAST、横浜国立大学)
医薬品、医療機器、健康関連製品の開発や商品化に資する人材を育成します。
3. 大学等の知のネットワークの構築 (実施機関：KAST)
医療ニーズとシーズのマッチング、企業の異分野参入支援、知財支援を推進し、コーディネート機能を発展させます。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化 (実施機関：KAST)
4大学(慶應大/早稲田大/東工大/東大)で構成するコンソーシアム所有の機器や、神奈川県やKASTが開発した装置を開放し、地域企業における新技術の実用化や事業化を支援します。

2. 平成25年度の成果

主な研究成果としては、脂質膜の自動形成法の開発や各種評価技術が進展しており、更に実用化に向け、コーディネータと連携して膜タンパク質電気計測用デバイスチップのプロトタイプを製作し、展示会に出展するなど、技術移転活動も積極的に行っています。人材育成においては、体系的なカリキュラムやe-Learning編成に着手し、教育講座として実施しました。また、機器の共用化についても、設備利用時間は順調に推移しており、企業支援に活かされています。



新薬の開発に役立つチップ